

こどもの国 ニュース

- 2 3 笑顔の記憶 600号たどる
- 2 牧場さんぽ
- 3 連載コラム「自然の扉 ひらけごま」
- 4 連載「子どもと児童館」
ひつじでんしゃ仲間入り

第600号

2020年5月号

発行 社会福祉法人こどもの国協会
〒227-0036 横浜市青葉区奈良町700(☎045・961・2111)
編集・制作 (株)朝日新聞メディアプロダクション 印刷 (株)朝日プリンテック

こどもの国ニュースの用紙は
王子製紙株式会社のご提供によるものです

タチツボスミレ



カントウタンポポ

地面に咲く花 探してみよう

「しぜんのことあれこれ」特別版

草刈りが生む多様性

春から夏にかけて、様々な野の花が私たちを楽しませてくれます。地面に咲く花の多くは林縁や草地に咲きます。林縁とは林のふち、周辺の場所のことです。アスファルトで舗装された道路や遊具などの周辺は、人間が利用しやすいように定期的に草刈りが行われます。そのため、春に地面まで光が届き、草花が成長することが出来ます。春早くに咲くスミレの仲間やカントウタンポポ、5月はタツナミソウ、ナルコユリ、6月はオカトラノオ、ホタルブクロなどがその一例です。

虫たちも植物が必要

こども国は多摩丘陵の雑木林の面影を残す森の中に、子どもの遊び場が点在している施設です。雑木林は昔の人々が生活していくのに必要なマキなどを切り出す場所でした。定期的な木を伐採し、地面の草は刈り取られていました。現在ではマキで火を焚いてご飯を作ったり、お風呂を沸かしたりしている人はまずいないでしょう。代わりにガスや電気を使います。そのため、雑木林に人の手が入ることがなくなり、こども国の森も、その周辺以外はほとんど手が入ることがなくなり、地面はネザサでおおわれ、地面に光が届かなくなります。そこで生きることで植物は限られ、多くの草花は森の中は見られなくなります。また、この

タツナミソウ



ホタルブクロ



ような森は、とても長い時間をかけて、やがてシラカシなどの一年中葉が緑の木におおわれた森に変化していくと考えられています。そのような森の中は暗く、地面には光が届きません。この環境を好む植物もあります。光を必要とする多くの植物は生きていきません。

一方、アスファルトで舗装された道路や遊具など、人工的な場所でも、植物は生きていくことができます。植物の生える地面は人工物でおおわれてしまっています。

自然の豊かさを考えるとき、よりたくさん種類の生き物がその周辺で生きていけることが重要です。難しい言葉で「多様性」と言いますが、こども国の環境でこの多様性を生み出しているのが、森と人工物の中間にある林縁や草地ではないかと



オカトラノオ



ジンガサハムシ



ナルコユリ

思っています。子どもの大好きな昆虫の多くは、特定の植物に依存して生きています。5〜6月にかけて見られる黄金に輝く小さな虫「ジンガサハムシ」は幼虫も成虫もヒルガオの葉しか食べないので、ヒルガオがなければ生きられません。ヒルガオもまた、林縁に見られる植物の一種です。

園内を隅々まで探検することで、今まで行ったことがなかった場所に立ち寄り、新たな発見があったりするかもしれません。この春は、ご家族やお友達でこども国を探検してみたいかがでしょうか？

(催事広報課 宮下健一)

お願い

こどもの国は、皇太子殿下(現上皇陛下)のご結婚に際し、国民からお祝い金が寄せられ、皇太子殿下が美智子妃殿下(現上皇后陛下)とお二人で相談され、「子どものための施設を」とのお気持ちを示されたことから、昭和40(1965)年の5月5日に開園しました。子どもたちが豊かな自然の中で遊び、さまざまな体験を通じて学ぶことができる児童厚生施設です。

小紙は開園当初から、こども国の活動を紹介します。全国の教育委員会のご協力です。小学校等に配布していただいています。引き続き配布していただきますよう、お力添えをお願い申し上げます。

教育 長 各位
教育事務所長各位
社会福祉法人こどもの国協会

こどもの国5月・6月の催し

☎045-961-2111

《お知らせ》この欄の情報は4月中旬時点の予定に基づいて掲載しておりますが、変更する場合がございますので、ご来園前にホームページ等でご確認ください。

- 5月
 - 9日(土)、16日(土) **あそびの広場** 11~15時、ふれあい学び館、かざぐるま、ストローとんぼなどをボランティアが指導、参加無料、雨天中止。
 - 16日(土)、17日(日) **竹馬・フラフープであそぼう** 10~15時、中央広場、遊具の無料貸し出し、家族みんなで体を動かそう! 雨天中止。
 - 16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)、30日(土)、31日(日) **たんぼぼフリーマーケット** 9時30分~16時、中央広場、雨天中止☆出店希望は主催者 TEL090・9376・6098へ。
 - 17日(日) **紙飛行機を飛ばそう** 10~14時、なかよし広場、参加無料、雨天中止。
 - 23日(土)、24日(日) **花のかざぐるま** 10~15時、ふれあい学び館、参加無料、雨天中止。
 - 24日(日) **紙芝居ライブ** 11時、13時、14時30分、ふれあい学び館、「心をつなぐ紙芝居の会」による実演、参加無料。
 - 30日(土)、31日(日) **うしのかざぐるま** 10~15時、牛・羊の牧場前、参加無料、雨天中止。
 - 31日(日) **牛乳まつり** 10~15時、雪印こどもの国牧場、詳しくは牧場のホームページで▽初夏の昆虫かんさつ会 13時集合、ビジターセンター、園内のたくさんの生き物を観察しよう! 参加無料、雨天中止。
- ◇児童センターの催し 10日(日) **ヒモ作りのうつわ** 陶芸、10時30分、13時30分、各回20人(小学校高学年以上向け)、参加費千円▽17日(日)、31日(日) **ビー玉万華鏡** 工作、10時30分、13時、14時30分、各回15人、参加費300円▽24日(日) **手形プレート** 工作、10時30分、13時30分、各回20人、参加費900円。

※陶芸体験、工作は開園から現地にて受け付け、定員になり次第終了。



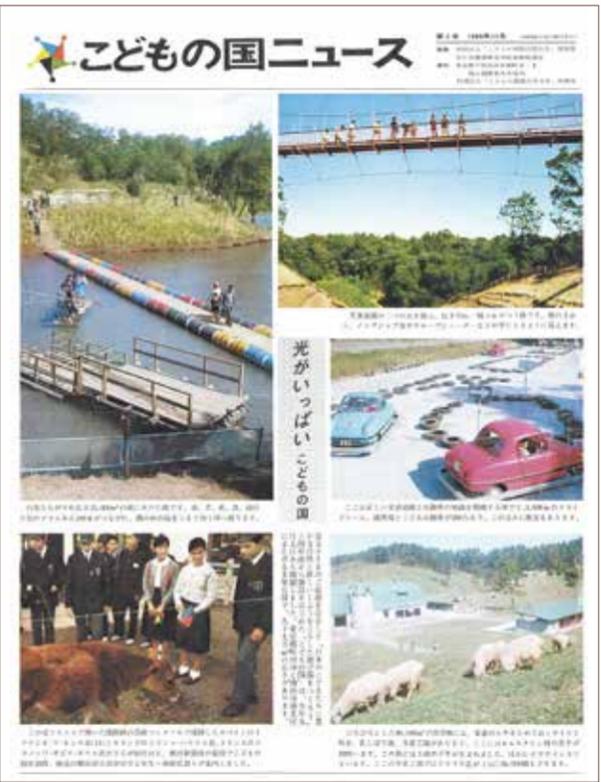
- 6月
 - 5日(金) **ノルディックウォーキング歩こう会** 9時45分、正面陸橋下集合、雨天時は12日(金)に順延、詳しくはホームページで。
 - 6日(土)、7日(日)、20日(土)、21日(日) **竹馬・フラフープであそぼう** 5月と同じ。
 - 6日(土)、13日(土)、20日(土) **あそびの広場** 5月と同じ。
 - 7日(日) **フープマン・ユーヤのフラフープ教室** 13~15時、中央広場、参加無料、雨天中止。
 - 7日(日) **初夏の昆虫かんさつ会** 5月と同じ。
 - 7日(日)、14日(日)、21日(日)、28日(日) **たんぼぼフリーマーケット** 5月と同じ。
 - 13日(土)、14日(日)、27日(土)、28日(日) **自然スタンプビンゴ<初夏バージョン>** 開園~14時(ゴールは16時まで)、正面入口広場、園内で色々な虫たちを探そう、参加費100円(プレゼント付き)。
 - 21日(日) **紙芝居ライブ** 5月と同じ▽**紙飛行機を飛ばそう** 5月と同じ。
 - 21日(日)、28日(日) **ザリガニ釣り大会** 13~15時、白鳥湖売店前、池でザリガニを釣って1匹の重さを競います。優勝者には素敵な賞品も。持ち物は帆布、さきイカなどのエサ、ザリガニを入れるケースなど(白鳥湖売店で販売もします)、参加無料、雨天中止。
 - 21日(日)、28日(日) **虫とりをしよう** 11時集合、ビジターセンター、園内を歩いて色々な虫たちを見つけよう! 持ち物は虫捕りあみ、虫かご、野外で活動できる服装など、所要約1時間、参加無料、雨天中止。
- ◇児童センターの催し 7日(日) **たたら作りのカップ** 陶芸、10時30分、13時30分、各回20人(小学校高学年以上向け)、参加費900円▽14日(日) **まゆだまガエル** 工作、10時30分、13時30分、各回20人、参加費300円▽21日(日) **手形プレート** 陶芸、10時30分、13時30分、各回20人、参加費900円▽28日(日) **草木染めの手持ちバッグ** 工作、10時30分、13時30分、各回20人、参加費500円。

※陶芸体験、工作は開園から現地にて受け付け、定員になり次第終了。

- こどもの国牧場の催し■問い合わせ☎045・962・0511
 - ◇**バターづくり教室** /日曜 13時、ミルクプラント2階、開園と同時にミルクプラント売店で受け付け、先着12組、参加費1組500円。
 - ◇**チーズづくり教室** /日曜 14時、ミルクプラント2階、開園と同時にミルクプラント売店で受け付け、先着10組、参加費1組500円。
 - ◇**乳搾り体験** /土曜、日曜、祝日 11時、14時、牧場牛舎前、開園より牧場エサ売り場で整理券配布、先着70人(6月は60人、4歳以上対象)、参加無料、雨天中止。

※上記の3つの催しは当面中止いたします。再開につきましてはこどもの国牧場のホームページ等でご案内いたしますので、ご確認のうえご来園ください。

【上】開園半年後に出した1号(1965年11月号)
【下】100号(1974年11月号)



笑顔の記憶 100号たどる

「ニュース」節目の1面

こどもの国は1965年5月5日に開園し、今月でちょうど55周年を迎えました。親子二代、三代にわたってご来園いただいているお客様、本当にありがとうございます。これからも自然と触れ合い、楽しく遊べる施設として皆さまのお越しをお待ちしています。

今号で記念すべき600号になりました。開園から半年後の11月号を初号とし、欠かすことなく積み重ねて参りました結果です。

そこで記念特集として、第1号、100号、200号、300号、400号、500号の各1面を紹介し、当時を振り返ってみたいと思います。「あつ、これで遊んだ、懐かしい!」などと思っただければ幸いです。

(左ページにつづく)



第1号の右上に今もある「つり橋」が見えます。説明書きにジャブジャブ池とありますが、今は「はす池」になってます。その下は「こどもの国交通訓練センター」です。日産自動車から提供された「ダットサン・ペイ」100台を備え、正しい交通道徳や自動車の仕組みを学ぶ施設でした。

この車、199ccのガソリンエンジンを搭載し、時速20kmで走るものでした。残念ながら今はありません。左上の写真、今は「ドラム缶いかだ」のあるところです。当時は立派な浮き橋がありました。

(こども動物園 高橋麻里)

太って見える? おとなのウサギ

日本品種 大きくなるよう改良

牧場さんぽ

皆さんよくご存じの動物園の人気者のウサギ。どんなイメージをお持ちですか? 小さくてフワフワでかわいらしい姿を思い浮かべる方が多いと思いますが、ここにはそれとは少し違うウサギがいます。

入口近くのぴよんぴよんひろばのお客様からは「ウサギってこんなに大きかったっけ!」「太りすぎじゃない?」という声が多く聞こえてきます。これ

は日本白色種という大型のウサギで、太っているわけではないので心配なく。大きいものは体重が10kgにもなり、一般的な小型のペットのものに比べると2~3倍位の大きさ。大きな体や長い耳が、皆さんのイメージとは違って見えるのです。

(こども動物園 高橋麻里)



【右】200号（1983年12月号）
【左】300号（1993年1月号）



【右】400号（2002年2月号）
【左】500号（2011年4月号）



- 各地のこどもの国(催し内容は各国ウェブページ等をご参照ください)
- 北海道子どもの国(砂川市) ☎0125・53・3319
 - 霊山(城)こどもの村(福島県伊達市) ☎024・589・2211
 - 千葉こどもの国「キッズダム」(市原市) ☎0436・74・3174
 - 愛宕山こどもの国(甲府市) ☎055・253・5933
 - 富士山こどもの国(静岡県富士市) ☎0545・22・5555
 - 愛知こどもの国(西尾市) ☎0563・62・4151
 - 岐阜県こどもの国(養老町) ☎0584・32・0501
 - びわ湖こどもの国(滋賀県高島市) ☎0740・34・1392
 - 鳥取砂丘こどもの国(鳥取市) ☎0857・24・2811
 - 沖縄こどもの国(沖縄市) ☎098・933・4190



泳ぐ・飛ぶ・オケラ万能

という生き物か知っている人は少ないと思います。バッタ目に属する昆虫ですが、地中で暮らすケラは日本には一種しかいません。英語では

「オケラ」の愛称で歌にも登場するケラです。オケラの名を知っていて泳ぐ・飛ぶ・オケラ万能



やわらか♡ハート nepia

領域をこえ 未来へ OJI

売上げNo.1 吸収性バツグンの長巻きキッチンタオル

2ロール 4ロール

※「ペーパータオルカテゴリー 70カット以上のロールタイプ」市場、ネピア激吸収キッチンタオルブランド、累計販売金額 / 容量シェア(2016年1月～2018年12月)、全国、全業態、イメージSRI調べ

nepia 激吸収キッチンタオル

泳ぐ・飛ぶ・オケラ万能

モグラコオロギと呼ばれる、上半身がモグラ、下半身がコオロギに似ています。土を掘るための前脚が特徴で、他の昆虫と違い、短く太いシャベルのようです。掌にあたる部分は鋸の歯のような刻みが入り、掘った土を外側によせることができます。手で包み込むと、指の間に自慢の前脚で潜ろうとします。体長は3〜4センチ、茶褐色の体にビロードのような毛が生えています。この毛が野鳥のように水をはじき、土の中にもほとんど体に土が付きません。湿った場所を好み、植物の根や昆虫、ミミズを食べ、土中に暮らしています。幼虫でも成虫でも越冬しますが、地上近くでその姿を確認できるのは、雄雌が出会う4〜7月と、幼虫が出てくる9〜10月。冬と夏は地中深くに生活するため、私たちが見つけることはめったにありません。前脚が短く、飛べないように見えますが、後脚が広がって空を飛ぶことができます。そのため夜間に街灯の近くで見つけることがあります。また、身体が水を弾くので泳ぐこともできます。歩くスピードに比べて泳ぐスピードの方が速いようです。地中、地上、空、水中を動けるケラ。田畑が減り、湿った土の環境が少なく、見かけられなくなっています。出会えたら可愛い姿に癒されますよ。

(プロ・ナチュラリスト) 石井 碧

【右ページからつづく】

9年後、100号です。サッカー場がオープンした直後の空撮写真です。場所は今と同じですが、観客席がなく、フェンスも低いように見えます。クラブハウスは今のものとは違いますが、今と同じ皇太子記念館の屋根が見えます。写真にはありませんが、裏面に「10NETテレビ」の広告が掲載されています。テレビ朝日になる前、「日本教育テレビ」のものでした。

200号ではスケート場が紹介されています。当時はまだ大屋根がありませんでした。中央広場では今も人気の「ピーロシヨー」が多くのお客さんでにぎわっています。当時は特設ステージがなく、芝生の上で行われていました。

300号でも紹介されているスケート場ですが、まだ大屋根はありません。今も行われる正月名物の「ジャンボカルタとり」は正面入口スロープが会場でした。コマ回しに凧あげ、正月の遊びは今でも変わありません。また、開園以来の入園者数が2500万人を目前にしており、達成日あてクイズが行われました。

400号のトップは前年12月の愛子様ご誕生と、それを記念した植樹の記事です。寄贈されたアーモンドの若木約100本を、近隣の幼稚園の園児たちが植樹しました。もちろん今でも、牧場にあるモーモードームの奥で、春になるときれいな花を咲かせています。

500号は現在と同じ体裁のタブロイド判4ページ建てになっています。東日本大震災の直後だったため、イベント中止のお知らせなどが載っています。100号に知りませすサッカー場が人工芝に変身した、という記事もありますね。カプト作りやスタンプビンゴ、ジャガイモを植えたりカプトムシの幼虫を探したり、この頃に行われていたイベントは、今でも大人気です。

簡単にここまでの軌跡をご紹介します。情報をお楽しみください。是非とも引き続き愛読いただきますようお願い申し上げます。

子どもと 児童館

児童健全育成
推進財団事業部課長

芳網 良さん

皆さんは「子どもの安全」と聞いて何を思い浮かべますか？ 日常での事故防止はもちろんのこと、今回の新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策、不審者対応、防災対策などその切り口は実に多種多様です。そこで、まず防災の視点を取り入れた神戸市六甲道児童館のプログラムをご紹介します。この児童館では、大きな災害を知らない子ども・家庭を対象にした「防災段ボールキャンプ」を行っています。子どもたちは避難する想定で、自分で持ち物を決めてリュックサックに詰め込み児童館に集合します。全員で車座になり、持参した避難グッズを自分の前に広げます。見せたくないものがある

安全能力 遊びで高める

「防災段ボールキャンプ」の試み



れば出さなくてもかまいません。一生懸命考えたのでしよう、中には津波を意識した浮き輪や、手放せないぬいぐるみを持つてくる子どももいます。その後、保護者も含めて防災意識向上のためのプログラムを行います。

日常の遊びにおいても、事故を気にしすぎると大人が制約を増やしすぎては子ども自身の安全能力は育っていきません。ではどんな遊びで事故は多いのでしょうか。当財団で実施している児童館の傷害保険の事故データ「子どもの遊びによるケガ（2017年）」を見ると、トップ3は「鬼ごっこ」218件、「ドッジボール」142件、少し開いて「サッカー」47件と続きます。比較

的軽微なケガではありますが、日常的に行われている運動遊びの中で多くの事故が発生していると推測できます。冒険や挑戦の伴う遊びになればなるほど、安全への配慮は比例して必要となるものですが、子どもが一人でたくましく生きる力を身につけるには質の高い遊び体験が必要不可欠です。遊びを通じて子どもの発達支援を行う児童館では「安全管理」と「子どもの発達」、一見矛盾しているようなこの二つを考慮しながら、さまざまな遊びを展開しています。

「怪我をせず安全に遊んで欲しい」それは親であれば当然の願いだと思います。こどもの国には野外遊びや運動遊びを体験できるフィールドや、様々なプログラムがあります。ぜひ安全に目を配りながら、心躍るようなダイナミックな遊びを体験してみたいかがでしょうか。



こどもの国の重要なアクセスポイントとして皆さまにご利用いただいているこどもの国線は、3月29日（日）に通勤線化20周年を迎えました。

ひびでんしゃで遊びに来て

その日から新たに「ひびでんしゃ」が仲間入りしました。2018年10月にスタートした先輩の「うしでんしゃ」も元気に走っていますので、どちらの電車も来るか、駅のホームでお楽しみがひとつ増えました。曜日や時間帯によっては、恩田駅でひびとうしがすれ違うこともあります。

〒227-0036 横浜市青葉区奈良町 700
☎ 045-961-2111 Fax 045-962-1366
http://www.kodomonokuni.org

開園時間 9時30分～16時30分（7月、8月は17時まで）
入園は15時30分まで（7月、8月は16時まで）

休園日 毎週水曜日（水曜日が祝日の場合は開園します）、12月31日、1月1日

交通 東急田園都市線・JR横浜線「長津田駅」でこどもの国線に乗り換え7分、「こどもの国駅」下車▽小田急線「鶴川駅」下車、「こどもの国」行き小田急バス10分、「こどもの国」下車

入園料	一般	団体		年間パスポート（入園のみ）	
		30人（20人以上）	300人以上	年間パス	ウイークデイパス
おとな	600円	480円	360円	7,000円	3,000円
高校生	600円	360円	290円		
中学生	200円	160円	120円	2,500円	1,000円
小学生	200円	120円	90円		
幼児※	100円	80円	60円	1,000円	500円

◇すべて税込料金です。現金のみのお取り扱いとなります。

●平日シルバー割引 65歳以上の方の平日（土曜・日曜・国民の祝日・休日以外の日）の入園料は300円。入園券売り場で身分証明書など、ご本人の年齢が確認できるものを提示して、「平日シルバー券」をご購入ください。

●障害者手帳・療育手帳・小児慢性特定疾患児手帳・精神障害者保健福祉手帳などをお持ちの方は本人と付き添い1人が半額になります。入園券売り場で手帳をご提示ください。※幼児は3歳以上です。0～2歳は無料。

駐車場（1700台収容）	普通車	マイクロバス・大型バス
駐車料（1日1回の料金）	1,000円	2,000円

●土・日・祝日は駐車場と周辺道路が大変混雑します。電車・バスのご利用をお願いします。

■雪印こどもの国牧場 〒227-0036 横浜市青葉区奈良町 700
（雪印こどもの国牧場は、こどもの国の園内にある施設です）
ご案内 ☎ 045-962-0511 Fax 045-962-0512
http://www.kodomonokuni-bokujyo.co.jp

月刊 親子で読めるニュースマガジン junior AERA

ジュニアエラ

毎月15日発売 ●定価499円（税込）A4判変型 オールカラー52ページ

Point 1 みんなが知りたい時事ニュースを、朝日新聞の専門記者らがジュニア向けにわかりやすく解説します。

Point 2 教科書では学べない新鮮なニュースと深い分析で、中学受験や高校受験の学習にも対応します。

Point 3 「時事問題の重大ニュース」「世界遺産」「お金」「AI」など、毎号8～10ページの大特集で、関心の高いテーマを深く掘り下げます。

英語が好きになる

ジュニアエラは私立中学校の入試問題や学校・学習塾の教材にも使われています。

朝日新聞出版

雪印メグミルク 骨密度を高める 働きのある MBP 配合

毎日骨ケア MBP 1本に牛乳4本分（約800ml）の MBP 40mg 配合

お試しセット 50ml×10本（10日分）

980円

【1家族1回限り！ 2020年6月30（火）まで】前回の購入が1年以上前の方はご購入いただけます。

まずは10日間お試しください。

お電話でのご注文は、雪印メグミルクダイレクト お客様係まで

お試しセットのご注文は今すぐ！ 0120-3000-90 F17171

※本商品は食品のためお客様のご都合での返品は受けできません。